

公表：令和 5年 3月 1日

事業所名 多機能型事業所 ぴっころ円山

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容や人数に応じて、 過ごしやすい環境となるよう 調整している。	年齢や活動内容の違いも踏まえ、 参加しやすい環境設定を検討す る。
	②	職員の配置数は適切であるか	○				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が 適切になされているか		○			
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定 と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート 調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改 善につなげているか	○				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームペー ジ等で公開しているか	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善 につなげているか			○		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保 しているか	○			研修等で得た内容を日々の 支援に活かせるよう確認し ている。	学んだ内容を具体的な支援方法と して共有できるよう振り返る。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシート等を用いて、子どもの状況を整理している。	学校・家庭・事業所での姿の違いも支援の見立てに活かしていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動内容は職員で相談しながら設定している。	本人の興味や年齢に応じ、活動の目的が明確になるよう検討する。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			複数の活動を組み合わせ、経験が偏らないよう意識している。	利用曜日や学校休業日による活動の偏りを振り返り、内容を調整する。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学校日と休業日の過ごし方の違いを踏まえて活動を検討している。	本人の疲労や生活リズムも踏まえ、無理のない課題設定を検討する。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前に当日の予定や児童の様子を確認している。	学校からの連絡等も含め、必要な情報を支援に反映できるようにする。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援計画を意識しながら日々の記録を残している。	本人の選択や友人との関わりなど、成長につながる変化も記録していく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○				

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		必要なケースでは学校等との情報共有を行っている。	保護者の同意を得ながら、学校と事業所で異なる姿も支援の参考としていく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			家庭と事業所での様子を伝え合い、共通理解につなげている。	本人の意向や年齢に応じた変化についても共有していく。

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		相談内容に応じて、事業所での様子や関わり方を伝えている。	家庭や学校生活にもつながる具体的な関わり方を一緒に考えられるようにする。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	活動の様子等について情報発信を行っている。	保護者が知りたい内容を確認しながら、伝わりやすい情報提供を検討する。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○			
	③5	個人情報に十分注意しているか	○				
	③6	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			緊急時等に備えた手順を確認している。	保護者にも必要な情報が分かりやすく伝わる方法を検討する。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				ヒヤリとした事例を支援上の注意点として共有している。	事故防止だけでなく、本人の行動の背景や環境の見直しにもつなげていく。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表：令和 5年 3月 1日

事業所名 多機能型事業所 ぴっころ円山

保護者等数（8家庭）

回収数

7家庭

割合

88

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1				
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	1	2	設備面の配慮については、詳しく分からない部分があります。	必要な情報が伝わるよう、環境上の配慮について分かりやすい説明を検討します。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	6	1			本人の希望も聞きながら支援内容を考えてもらえると嬉しいです。	年齢や発達段階に応じて本人の意向も確認し、支援内容の検討に活かします。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7				学校がない日の活動も楽しみにしています。	学校日と休業日の生活リズムや本人の様子を踏まえ、活動内容を検討します。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	3	2	児童館などとの交流があるかは分かりません。	地域との関わりについて、保護者に伝える必要がある情報を整理します。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	1				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	1			学校での様子と家での様子が違うことがあり、一緒に考えてもらえると助かります。	家庭・学校・事業所での姿の違いも確認し、本人に合った関わり方を検討します。

保護者への説明等	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	2		1	進級などで困りごとが変わった時に相談できると安心します。	成長や生活環境の変化に応じた相談に対応できるよう努めます。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	2	3	保護者同士の交流については、どのような機会があるのか分かりません。	ニーズを確認しながら、交流の方法について検討します。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		2		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	1				
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		1	活動の様子だけでなく、本人がどんなことを選んだのかも知りたいです。	本人の選択や活動への参加の様子についても伝えられるよう工夫します。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	7					
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2	1		4	避難訓練などの実施状況は詳しく分かりません。	非常時の取組について、必要な情報が伝わる方法を検討します。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1		3		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	7				本人が行くのを楽しみにしています。	本人の楽しさや意欲を大切にしながら、成長段階に応じた支援につなげます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	6	1			学校とは違う友達との関わりが経験できることも良いと思います。	友人との関わりや本人の気持ちを見ながら、安心して参加できる支援を検討します。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価